

調布市つつじヶ丘の開発

18N1054 佐藤周

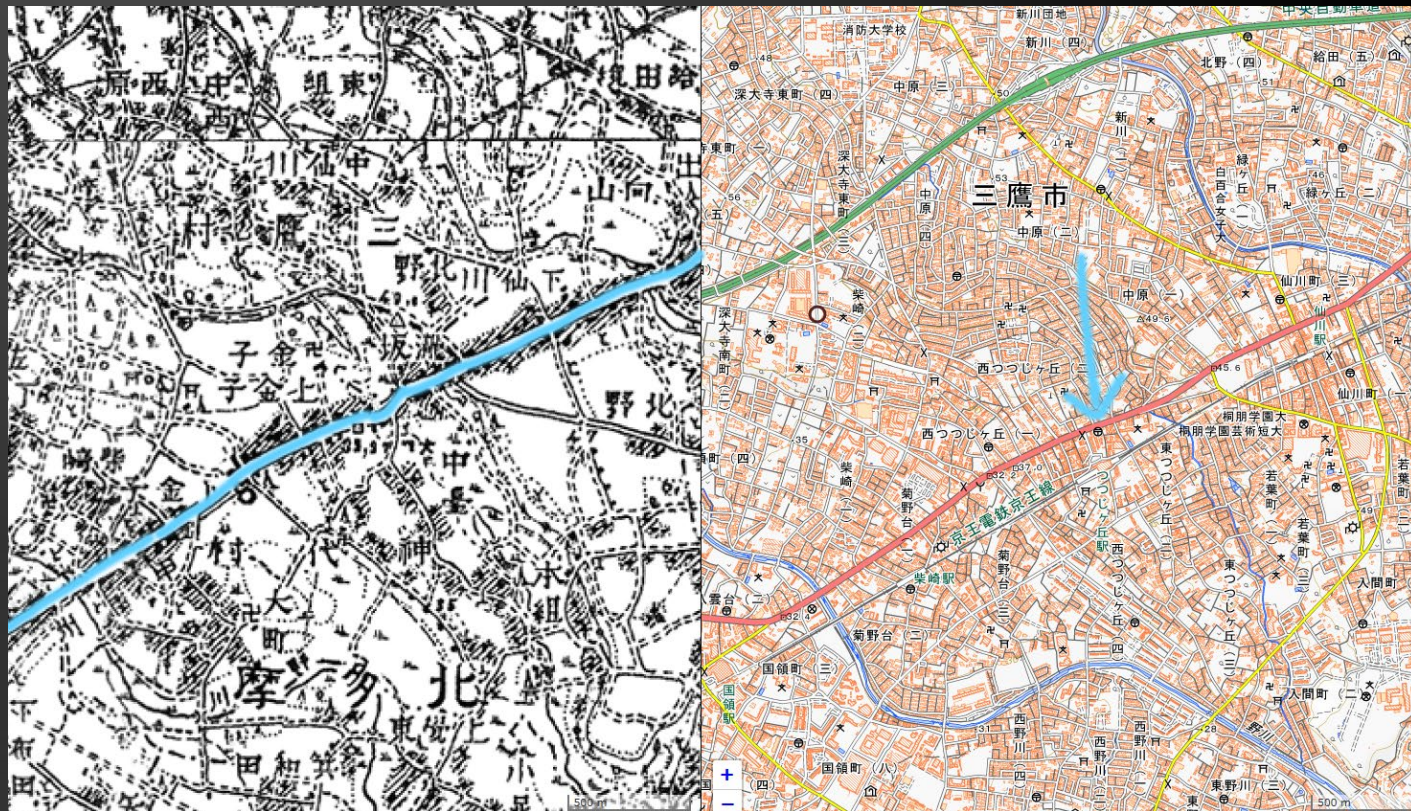
調布市つつじヶ丘の住宅地化について

私が育った町つつじヶ丘の住宅地化に関わる要素とその関係

- ・ 甲州街道
- ・ 調布市立滝坂小学校
- ・ 京王電鉄

甲州街道

甲州街道は、江戸時代に甲斐国と江戸をつなぐ目的で、江戸幕府によって整備された五街道の一つ。



調布市立滝坂小学校

明治5年8月2日、太政官により発された**学制**で設置された小学校。

明治6年に開校し、平成25年で開校140周年を迎えた調布市のなかで最も歴史がある。甲州街道の開発とともに一度移転し、現在に至っている。

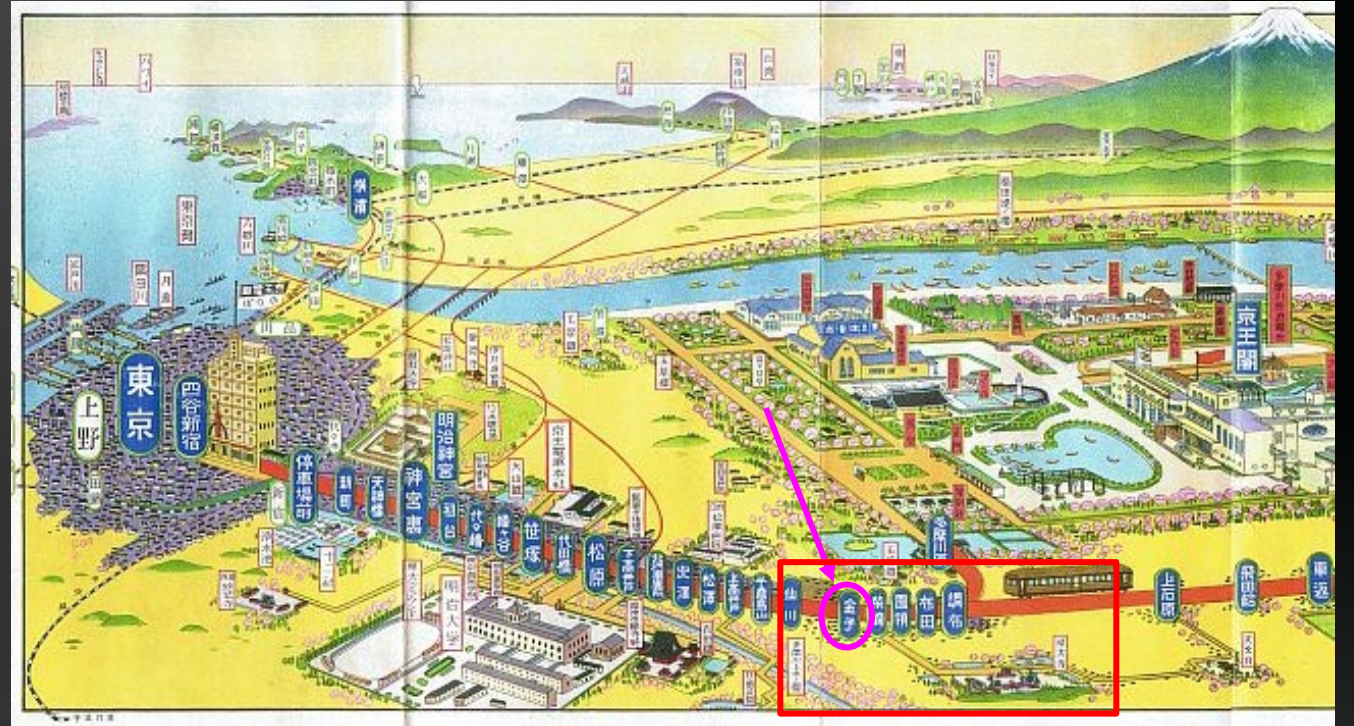


京王電鉄

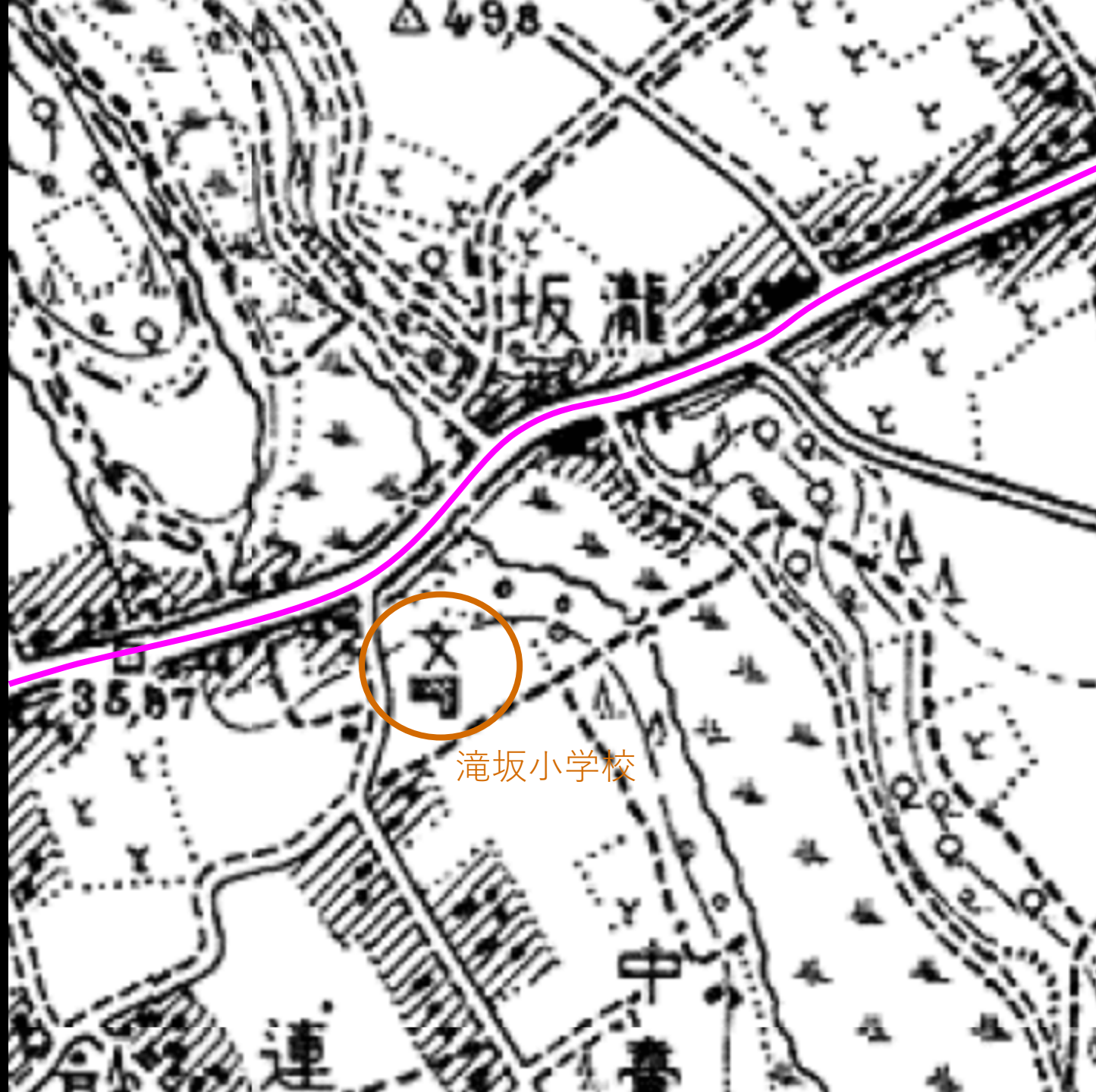
京王電鉄は、新宿と八王子を結ぶ路線で、全線が開通したのは1925年。

鳥瞰図で表されている調布市(赤)は深大寺しか描かれておらず、他の町に比べ、開発がまだ進んでいないのが分かる。

私の地元である金子駅(桃)の周辺には目立った建物は少なく、桑畑が広がっている。



『京王電車沿線名所図絵』 鳥瞰図 吉田初三郎画



甲州街道

1896~1909年
つつじヶ丘周辺
は開発が進んで
おらず、桑畑な
どが広がってい
る。



1910~1924年

京王電鉄開通
(当時の名前は
京王電気軌道・
玉南電気鉄道)



旧甲州街道

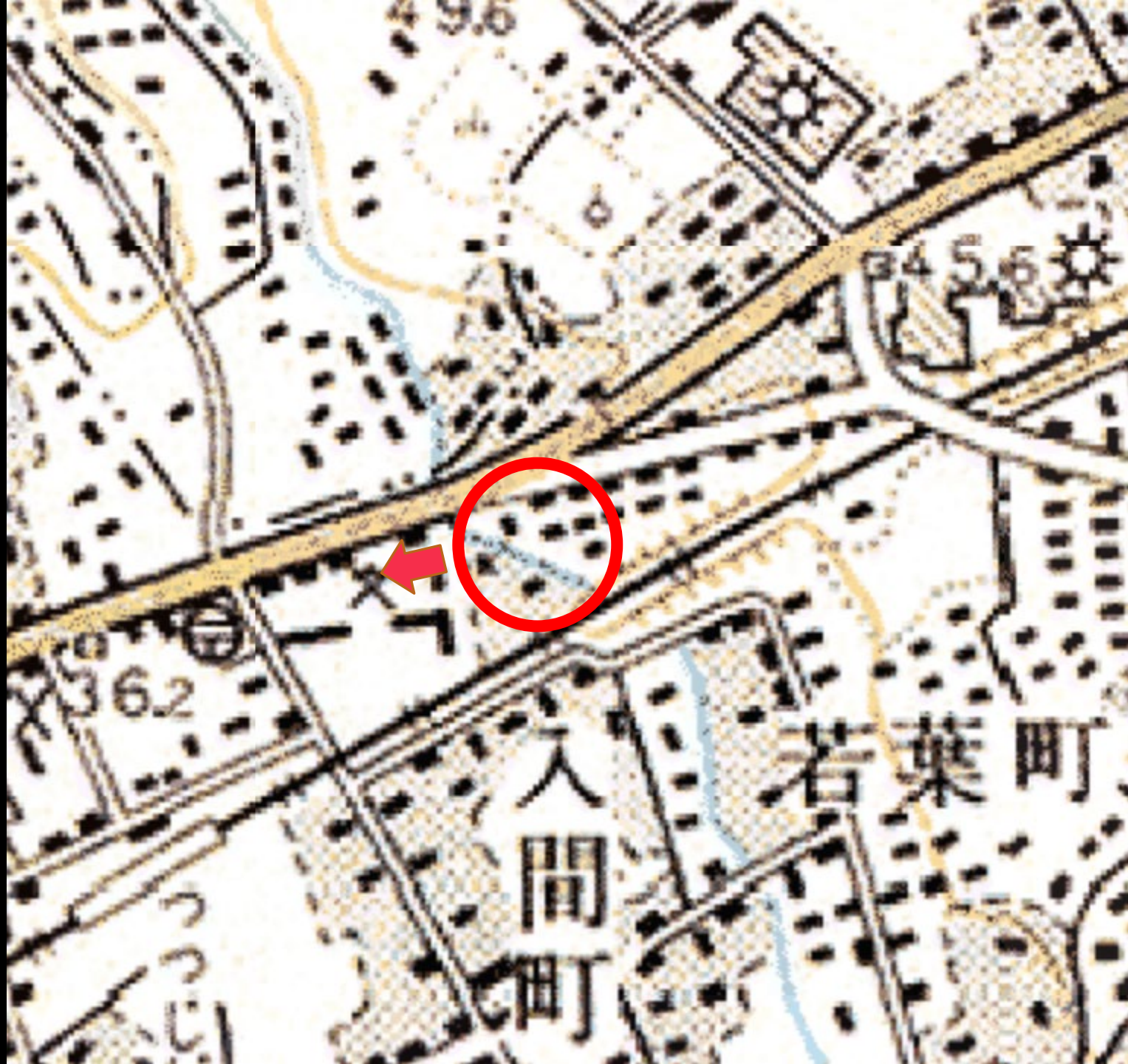
新甲州街道

(155)

1927~1939年

甲州街道 整備開始

京王電鉄による
金子駅北側の
中原地区の
宅地開発開始



1944~1968年

新甲州街道 整備完了

甲州街道整備に伴い、
滝坂小学校移転



1970年~現代

京王電鉄による
宅地開発地は住宅地
として販売
金子駅からつつじヶ
丘駅へと改名

まとめ

つつじヶ丘駅周辺の住宅地化は、東京の人口の増加、車の発達による甲州街道の整備、京王電鉄の宅地開発事業(つつじヶ丘駅始発の電車の確保、急行電車の停車)によるもの。